

基本施策C4 新しい企業・新しい産業を創造し育成します

主管課：産業雇用政策課

個別施策

- C4-1 産学官や異業種間で連携しながら、創業や新分野への進出を促します
- C4-2 域外から新たな企業の立地を促進します

ア 施策の目的

地場企業、創業企業又は誘致企業が、新たな事業に取り組み、持続的な企業活動を行っている。

イ 基本施策の評価

B a 目標をほぼ達成しており、目的達成に向けて順調に進んでいる

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区 分	H28	H29	H30	R1	R2
企業立地件数 (市外企業新設) [累計]	9件 (26年度)	↑ 目標値	11	12	13	15	17
		↑ 実績値	14	17	20		
		↑ 達成率	127.3%	141.7%	153.8%		
輸送用機械器具製造業以外の製造品出荷額等[暦年]※1	3,313億円 (25年)	↑ 目標値	3,313	3,313	3,313	3,313	3,313
		↑ 実績値	3,343	3,086	8月確定予定		
		↑ 達成率	100.9%	93.1%			
【補助代替指標】 機械・重電機器受注残高(長崎県域)[暦年]※2	5,377億円 (26年)	↑ 目標値	5,377	5,377	5,377	5,377	5,377
		↑ 実績値	9,406	8,250	5,204		
		↑ 達成率	174.9%	153.4%	96.8%		

※1 「輸送用機械器具製造業以外の製造品出荷額等[暦年]」の実績値は、それぞれ前年の実績値を表示。
(実績値の確定時期は8月の予定)

平成28年の実績値については、平成27年工業統計調査が実施されなかったため、経済センサス調査の数値を表示。

※2 補助代替指標として、「機械・重電機器受注残高(長崎県域)[暦年]」を追加した。

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に関する意見

- 成果指標の企業立地件数について、企業誘致をしても九州では福岡以外は全国最下位の最低賃金でずっと進む中、同じような職種であれば結局県外に就職してしまう。少し違う視点になるが、最低賃金も上げなければならないと思うし、産業支援の総合

的な取組みとしてよく検討していただきたい。

カ 審議会における施策推進に向けた提案

- D-F L A Gへの入居率が低迷していることについて、要因に記載されている、「地場企業や大学の研究者等における認知度の低さ」については、もっとやり方があると思うので、ぜひ取組みをお願いしたい。
- 起業について、シーズ型は昔からあるが、なかなか成功率が低い。新しい起業はデザイン思考と言われ、いろんなことを考えながら、多面的に物事を見て、新しいものを生み出し、大きく成長させる。そうするとそれがD-F L A Gに入ってくることもあるのではないかと。
- 新しいデザイン思考の起業をする人同士がつながり合わないところが欠点だと思うので、つながり合うしくみがあるといいのではないかと。また、長崎で新しいことをする人たちを吸い寄せるような場所、何か優遇制度があり、インターネットが使える、多面的にもものを見られる人たちがわいわい話し合えるような場が必要だと思う。
- C4の全体的なコンセプトとして、新規事業というと新しい技術、I o Tなどにとられがちだが、高齢化を踏まえた介護や医療の分野のニーズが非常に増えてくると思うので、介護や医療分野での検討もぜひお願いしたい。
- 企業が求めているものは、世界中で最もいいもののほうが戦略的には勝てると思う。県内の大学だけに限定してしまうと、新しいものは出てこないのではないかとと思うので、県内の大学に限らず、広く調べていただきたい。
- 地域の活性化や新しい産業の創出には、企業誘致も大事なことだと思う。元来、企業誘致は雇用創出のためだと思うが、今、長崎の地場企業は非常に深刻な人手不足に悩まされており、会社を運営できないところも出てきている。そのような状況でも企業誘致は必要なのかと思う。
- 事務系でもその事業内容によって需要と供給のバランスが崩れている。土日仕事をするサービス業が極端な人手不足になり、そのウエートが高い。そういう影響も出つつあるので、そのあたりを頭の隅に置いて取り組んでいただきたい。
- 企業誘致で様々な企業が入ってきているが、既存の長崎の企業との情報共有や、関連ができれば、いろんな意味で新しい知恵がわくかもしれないので、交流なども考えたい。
- 大学の教員の評価指標として外部資金獲得額の高さがあるので、大学の教員はそういうネタはないかといつも考えており、いわゆる源泉的なアイデアを持っている人はたくさんいると思う。たくさんあるアイデアを実際につないでいくと長崎以外の大学などにつながるケースもあると思うので、ぜひ、そういう調査を行うべきである。

キ 次期総合計画の策定に向けた意見

- 日本人だけでは食べていけなくなってきている。長崎は中国の方には信用性のある場所でもあるので、そういう外力を引き寄せることも今後は考えていかなければなら

ないのではないか。

- 5Gという時代が来ると、場所による差が詰まってくる。国際都市長崎を売りにしているので、次期総合計画では、東京というよりアジアを広く見られるようなイノベーションに向けた企業などに目を向けた特色の出し方を考えてもいいのではないか。
- これからの10年を考える時、これから人口がどんどん増えていく東南アジアやミャンマーなどの人材も引き寄せられるよう、早く手を打っておいたほうがいいのではないか。